

楽チン見守り「ラクミ〜マ」



ご利用者様、働くスタッフ様にとって、良いものでありたい

見守り業務の軽減によって、介護スタッフが
より良い介護サービスを提供できるようにしたい

株式会社スーパーリージョナル

2014年6月11日

はじめに

開発の経緯

筆頭株主の清水建設株式会社技術開発研究所にて2011年に開発・特許出願されている技術を活用し、低価格センサを採用して低価格のシステムを開発・販売することになりました。

当時、センサの検知精度は入室、入床、睡眠、起き上がり、離床、退室という6つの動作で95.5%で高い精度があったが、転落防止機能の「はみだし」を追加し、今日に至っております。

開発、販売への思い

介護スタッフの多くの方が、被介護者の方々に対し、「人間らしい生活を送る」・「笑顔を作る」等の思いを持って仕事を行っていながら、普段施設内を走り回っていることなど様々な業務に追われ過多忙な一面を垣間見ました。

多忙でなければもっと良い介護が行え、介護現場で働く人々のやりがいの向上となり、スタッフの定着、そしてサービスの充実が図れ、結果、被介護者の方が穏やかに暮らせる時間が増えるのでは考えました。

介護現場での一面ではありますが、少しでもお役立て頂ければ幸いです。

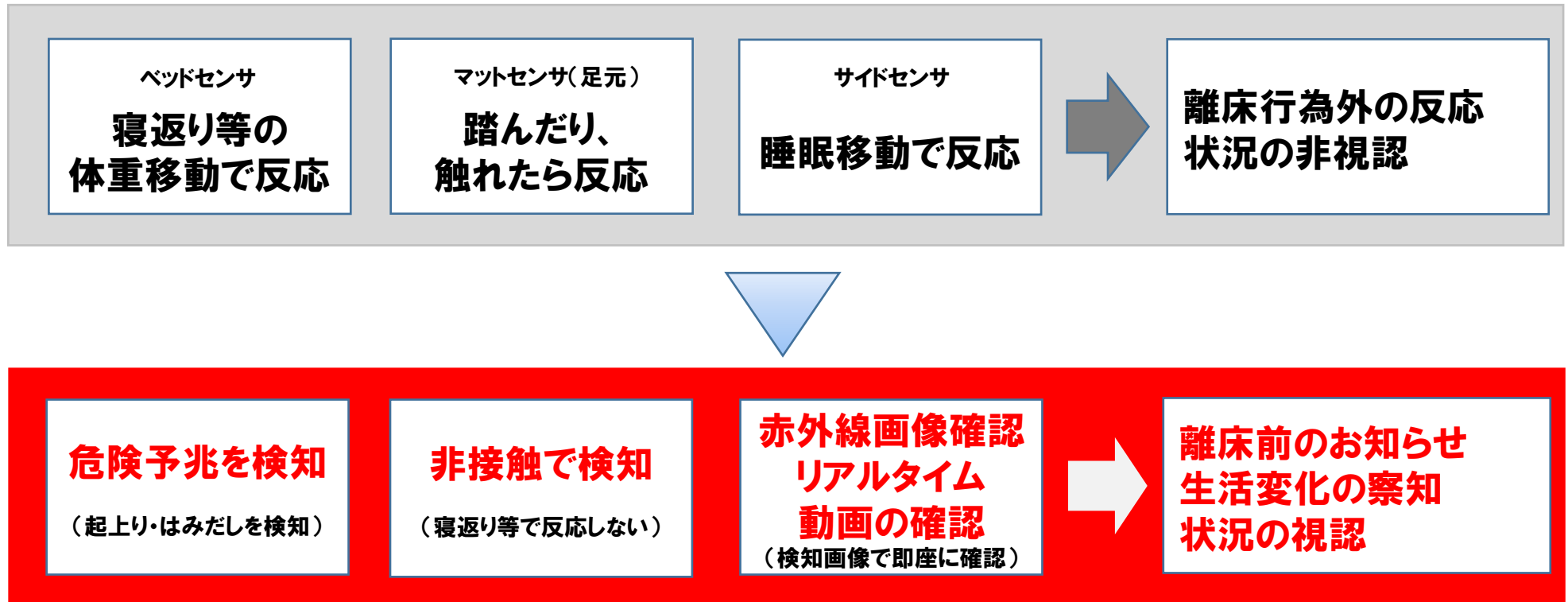
製品について

本システムは、2つの構成で提供させて頂いております。

1. 基本パッケージ
 2. 介護記録ソフトウェア連動バージョン
- センサ機能・管理機能は同じ仕様となります。

既製品との違い

既製の離床センサが抱える課題の解決から生まれた
付加価値の付いた新しい離床センサ



特 長



起上り、はみだしをお知らせ

ベッド上の起上りやベッド端からはみでている状態を検知しお知らせしますので、転倒・転落前に駆け付けることができます。



ご利用者様ごとの設定

ご利用者様ごとに、「起上り」・「はみだし」・「睡眠」・「入床」・「離床」・「入室」・「退室」の通報の有無を設定することができます。



検知した日時・赤外線画像の確認

ご利用者様の検知された状態を赤外線画像で確認する事により、駆け付ける前に状況が分かります。



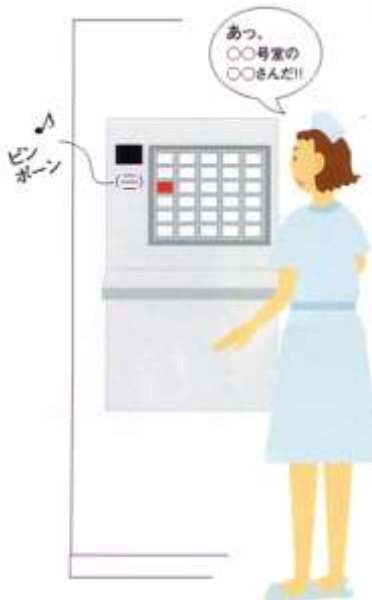
リアルタイム動画の確認

居室の状況を赤外線動画でリアルタイムモニタリングできます。現況を確認することにより、見守り業務を効率化させます。

居室



ステーション



フロア



システムイメージ図

機 能

- ・現在、過去の履歴情報から、適切な離床ケアサービスの実施
- ・見守り全体業務の効率化による、スタッフ様の労務軽減

現状の視認

検知された赤外線画像と
リアルタイム赤外線動画配信

現状確認と駆け付ける時を
判断することができる。

一元管理と情報共有

管理PCで複数センサ状確認、
通報時は携帯端末でも確認

夜間、少数のスタッフでも
効率的に業務が行える。

前後の確認

検知された前後約1分間の
赤外線動画を自動保存

今後のケアプラン作成、
再発防止の分析・検証。

介護記録ソフトウェア連携

センサ機能と介護記録業務の
パッケージ化

検知された情報と介護記録
を紐付け、同時入力が可能。

悩みごとと解決します 1

悩みごと



駆け付けたら、転倒・転落してしまっていた



解決！



「起上り」・「はみだし」・「離床」を検知し、お知らせすることで素早いケアサービスが行えます。

悩みごと



夜間の見守り業務が大変！



解決！



管理用端末と携帯端末で居室毎のリアルタイム赤外線動画を見ることができるので、いつでもご利用者様の状況が把握できます。

悩みごととは解決します 2

悩みごと



危険でない行為で離床センサが反応（寝ころびなど）



解決！



空間上に設定された閾値や容量で検知する仕組の為、体重移動・体勢変化では検知されません。

検知された状態を赤外線画像で視認できるので状況に応じて対応できます。

悩みごと



ご利用者様がどうして転倒・転落したのか分からない



解決！



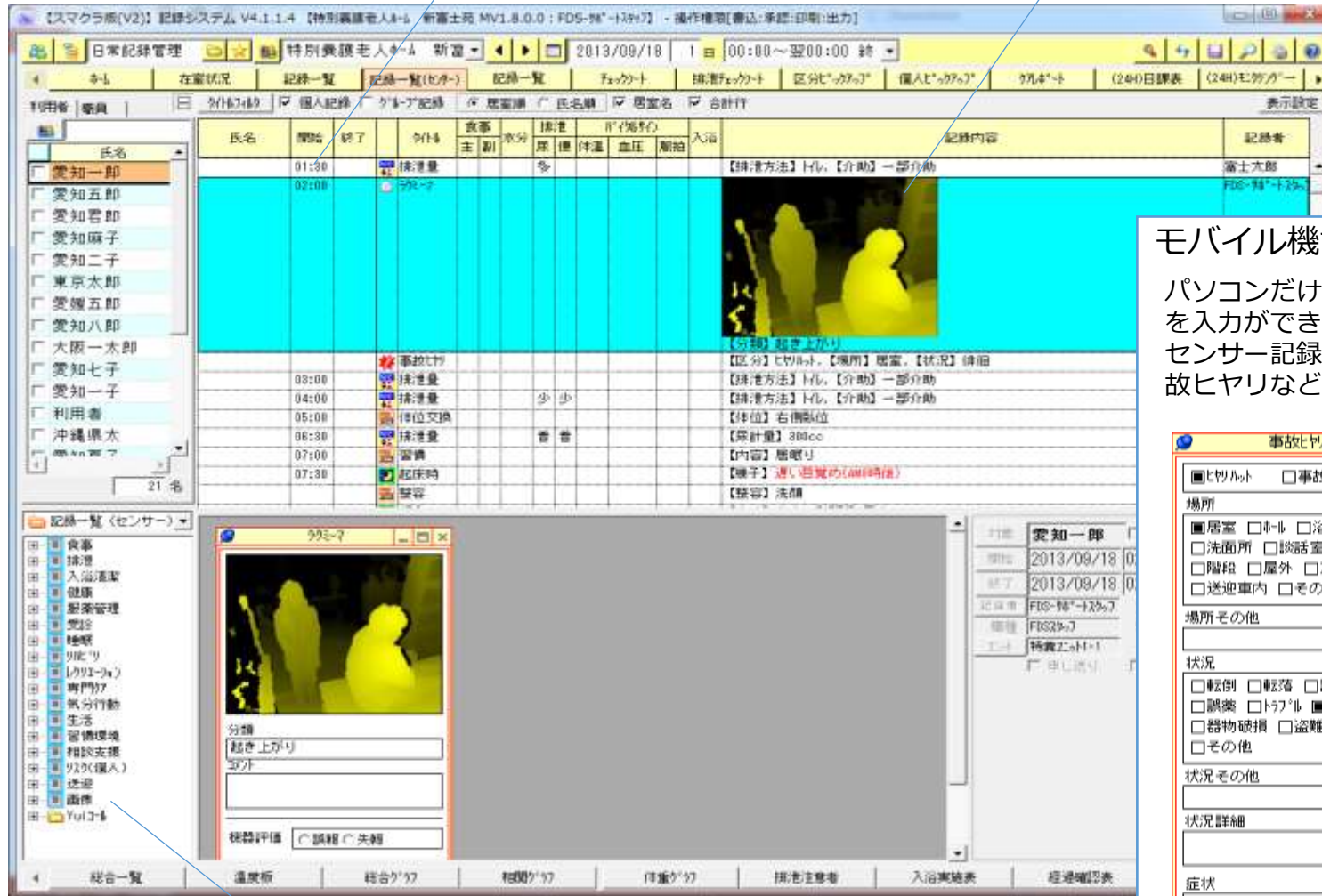
検知された状態の前後約1分間は動画が自動保存されるため、正確に把握する事ができます。

ケガの措置が素早く行え、再発防止にもお役立て頂けます。

介護記録ソフトウェア連携イメージ

介護記録が時系列に表示されます。

センサー検知記録が介護記録と一体的に表示されます。



センサー画像以外にも、検知時の状態、対応者のコメントの入力が行えます。

モバイル機能

パソコンだけでなく、モバイルを使い、現場で記録
を入力ができます。

センサー記録以外にも、食事、排泄、睡眠状態、事故ヒヤリなどの記録も管理できます。

Figure 1 shows the overall structure of the accident investigation form. The main form is titled '事故ヒヤリ' (Accident Near Miss) and contains several sections for data entry. A blue arrow points from the '場所' (Location) section of the main form to the '排泄量' (Excretion) section of the inset form. Another blue arrow points from the '状況' (Situation) section of the main form to the '排泄量' (Excretion) section of the inset form.

事故ヒヤリ

☐ ヒヤリハット ☐ 事故

場所

☐ 居室 ☐ トイレ ☐ 浴室 ☐ トイレ
☐ 洗面所 ☐ 談話室 ☐ 廊下
☐ 階段 ☐ 屋外 ☐ その他
☐ 送迎車内 ☐ その他

場所その他

状況

☐ 転倒 ☐ 転落 ☐ 誤食 ☐ 誤嚥
☐ 誤薬 ☐ トラブル ☐ 徘徊
☐ 器物破損 ☐ 盗難・紛失
☐ その他

状況その他

状況詳細

症状

☐ 無傷 ☐ 表皮剥離 ☐ 打撲
☐ 骨折 ☐ 擦過 ☐ 切傷
☐ 内出血 ☐ 捻挫 ☐ 火傷
☐ 親白 ☐ その他

排泄量

尿量 ☐ 普 ☐ 少 ☐ 多

便量 ☐ 普 ☐ 少 ☐ 多

尿計量 cc ☐ 排泄無

排泄方法 ☐ 肛 ☐ トイレ ☐ F.トイレ ☐ 尿便器

介助 ☐ 全介助 ☐ 一部介助 ☐ 見守り ☐ 自立

課 題

課題1 本体設置場所

3次元距離センサの特性上、ベッド周辺の約2m程度の高さに設置されます。



安全の為、強固に固定するため、移設することが難しい。
取付け・取り外しに専門職の手助けがいる場合がある。

課題2 はみだしの検知

身体でない物体でも反応してしまう。



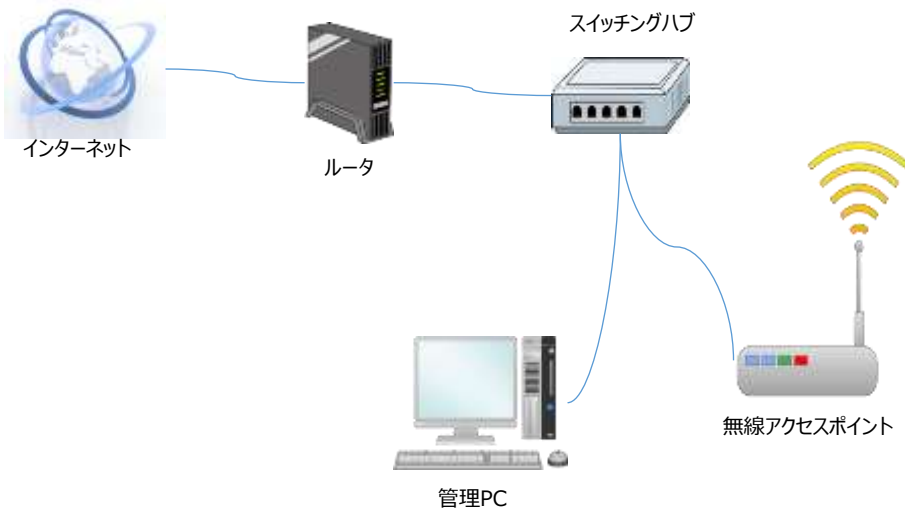
ベッド端からはみだしている容量で検知する為、反応してしまう。

仕様と構成



＜赤外線センサ本体＞

- ・3次元距離センサ
 - ・サイズ 縦57mmX横190mmX奥行190mm以下
 - ・無線LAN接続、ナースコール接続インターフェース
 - ・メモリ媒体 SDカード
 - ・コンセント電源(AC100V)
 - ・LEDステータスランプ
(安全機能)
 - ・CPU、赤外線センサ、電源異常時は自動停止
 - ・自動停止前にナースコール通報
 - ・LEDステータスランプにて表示
(設置方法)
- 壁掛けと天井設置の両方に対応



＜システム構成＞

- ・機種構成 管理PC、設定端末、携帯端末

＜各機器の役割＞

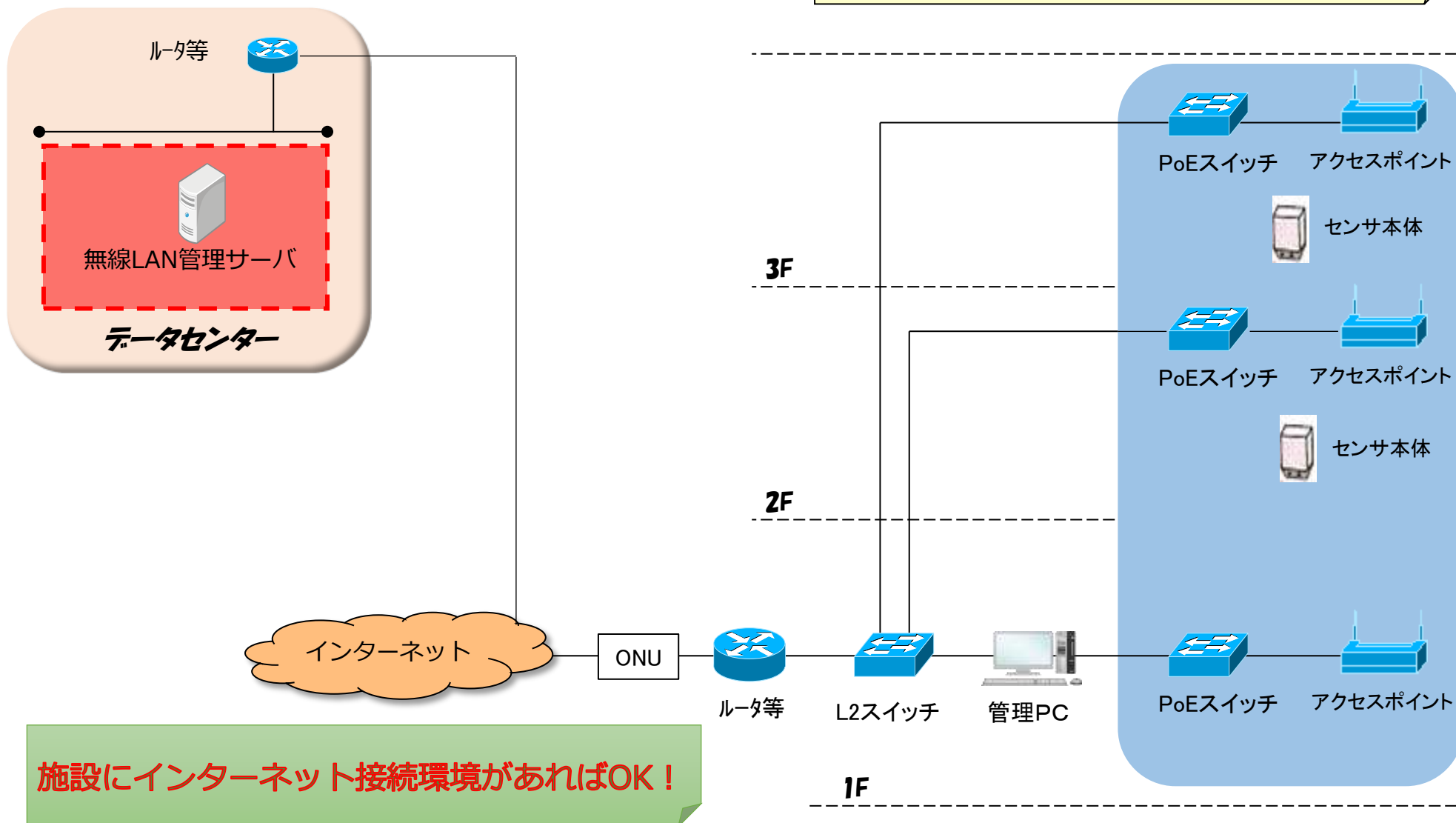
- ・管理PC: 各センサの設定、動画像の閲覧、介護記録ソフト
- ・設定端末: センサの設定、動画像の閲覧
- ・携帯端末: 動画像の閲覧

＜動作環境＞

- ・施設内無線LANネットワーク環境

ネットワーク概略図

- ・構成機種は5年無償保証品。
- ・故障時は管理者へメール送信。
- ・災害時はホットスポット設定でA P起動。
- ・インターネット不具合時もA P稼働



施設にインターネット接続環境があればOK!

スケジュール

[illegible]



ご清聴
ありがとうございました。